

職

シヨク

〔5年〕

18画 職 職 職 職

はわる

〔なりたち〕

目印の意味の弋(し)と音との会意字で、音の標(し)・合図(あひず)の意味の哉(いか)と耳との会意形声字。耳で合図をよく聴き分けることを表した。民衆の気持ちを探する「官の仕事」を表す。転じて、広く「仕事」。



▼仕事。勤めとする。司(し)従事している仕事。職業：生活するために、日常に従事している仕事。職務：仕事上の任務。職場：仕事をする場所。職種：職業や職務の種類。職員：官庁や学校で働く人。職人：手先の技術で物を作る職業の人。大工・左官など。

〔例職人気質(た)〕頑固だが実直といった職人特有の気質(けいしつ)。就職：新しく職業に就くこと。求職：職業を求めること。休職：公務員や会社員が一定期間、職務を休むこと。辞職：自分から職をやめること。内職：①本来の仕事の片手間にする仕事。②主婦などが家事の合間にする賃仕事。

職識

識

シキ

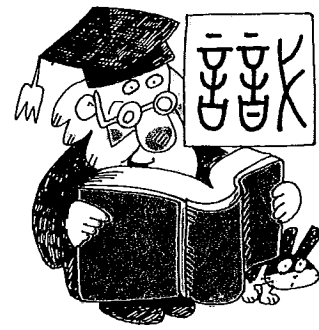
〔5年〕

19画 識 識 識 識

はわる

〔なりたち〕

標識の意味の弋(し)と音との会意字で、音の標(し)と「なり」の意味のある音「識(し)の意味のある言葉(ことば)を言うこと」で、物事をよく知っていることを表した字。



▼知る。見分ける。識別：種類や性質などを見分けること。例識別法。認識：物事をはっきり見分けること。例認識不足。理解すること。例認識不足。面識：顔を見て知っていること。例面識のある人。

▼見分ける力。考え。意識：自分が今何をしているか、どんな状況にあるのか、などが、自分ではっきり分かる心の働き。例意識不明。見識：物事についての優れた判断力。例見識が高い。知識：ある事柄について、知っている内容。▼しるし。標識：区別するための目印。よみかた 識者・学識・鑑識・博識・有識・良識

酒

シユ

〔3年〕

10画 酒 酒 酒 酒

つき出ない

〔なりたち〕 酒を入れる器の形を表した酉(ゆ)と、水との会意形声字。酒器に入った水、つまり「さけ」を表した字。



▼酒。酒を飲む。酒宴：酒盛り。酒豪：酒に強い人。酒をたくさん飲む人。酒量：飲む(飲んだ)酒の量。酒乱：酒に酔うと乱暴をする。くせ。また、そういう人。酒気：①酒を飲んだ人の酒くさいにおい。②酒に酔った気配。例酒気を帯びる。酒食：酒と食事。飲み食い。酒精：アルコール。飲酒：酒を飲むこと。禁酒：酒を飲むのをやめること。節酒：酒量を減らすこと。酒を制限すること。美酒：おいしい酒。よみかた 酒蔵・酒場・酒屋・酒税・酒造・甘酒・清酒・さんこう 特別なよみかた↓ お神酒

配

ハイ

〔3年〕

10画 配 配 配 配

はわる

〔なりたち〕 酒器の形をかたどった酉(ゆ)と、人の形を表した己(こ)との会意形声字で、人が酒器に「寄り添う」ことを表した字。「連れ添う」こと。また、人が酒を「くばる」形と見て、「くばる」意味にも用いられる。



▼連れ添う。連れ合い。配偶：連れ合い。夫婦。例配偶者(夫から見た妻、妻から見た夫をいう)。交配：動植物で、別の品種の雌雄をかけあわせること。▼並べる。取り合わせる。配合：①いくつかの物を取り合わせる。②薬などを混ぜ合わせる。▼配る。割り当て分ける。配給：割り当てて配ること。例配給制度

心配：①心を悩ますこと。例心配性。②物事がうまく運ぶように気を配ること。▼取り締まる。支配：上に立って相手を思う通りに動かすこと。▼鳥流しにする。配所：鳥流しにされた場所。よみかた 配達・配布・軍配

酒配